

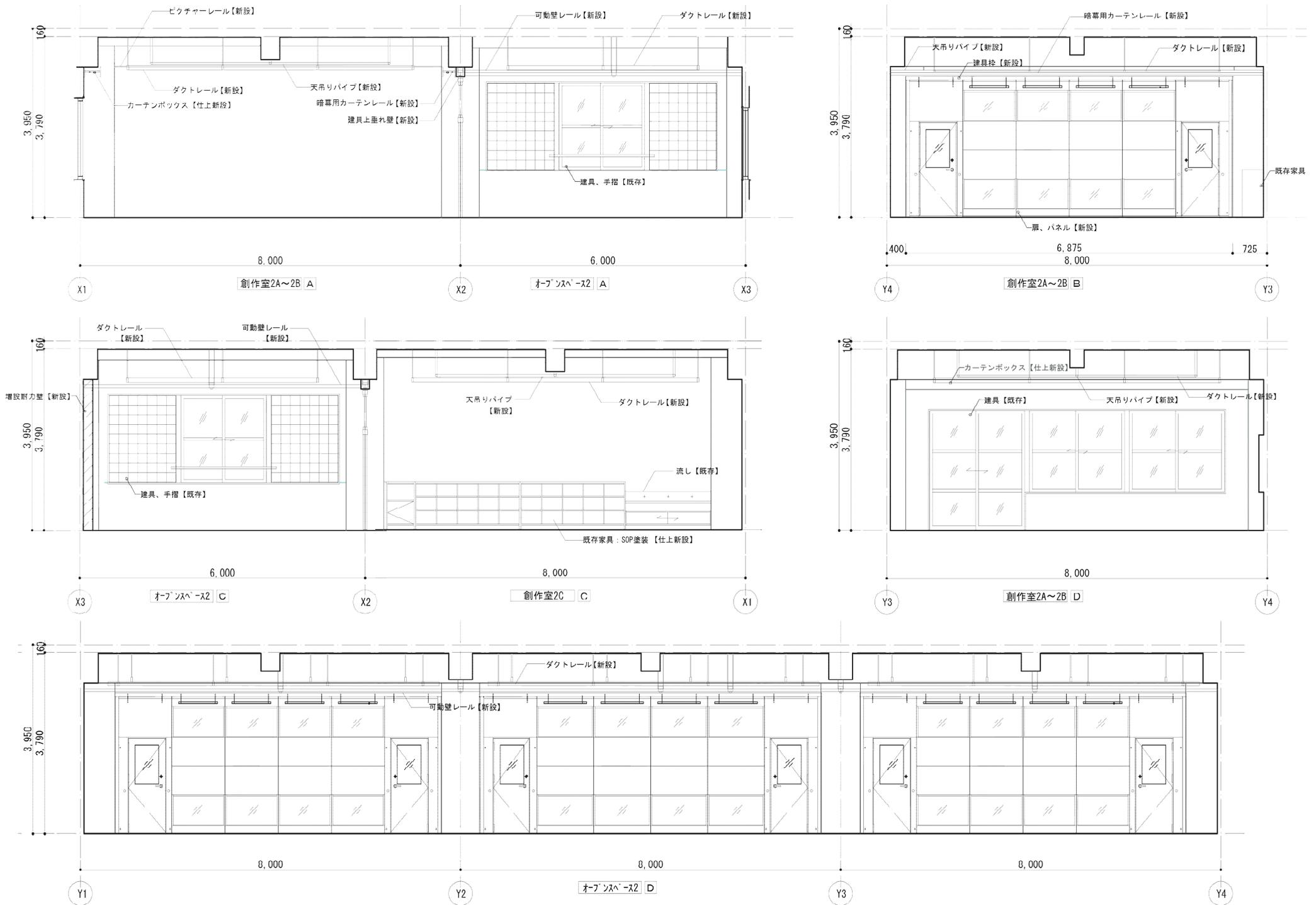
2階 オープンスペース2

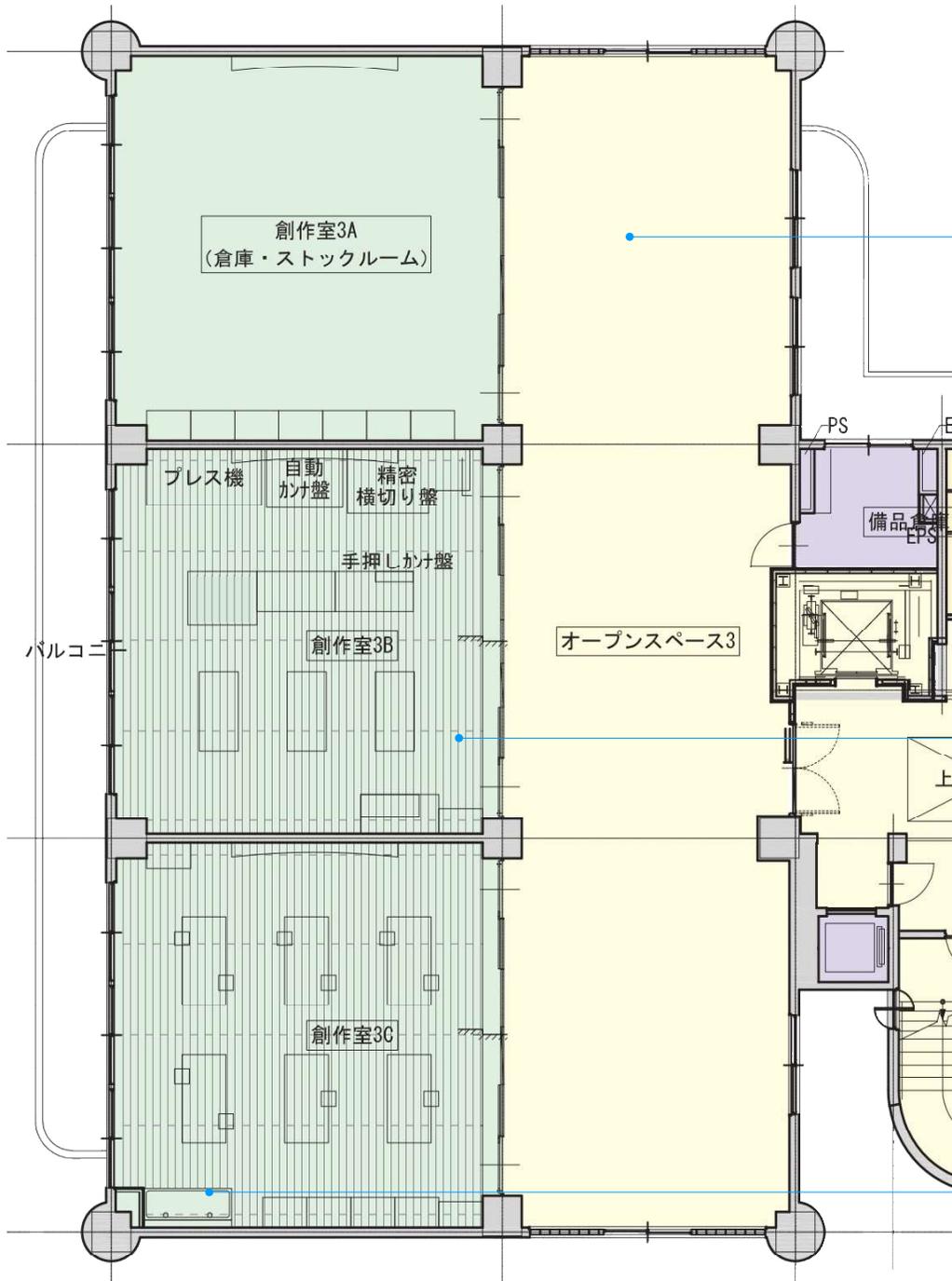
創作室とオープンスペースを仕切る壁は移動間仕切りになっており、オープンスペースの展示壁としても利用できる。間仕切りパネルにはピクチャーレールを仕込み、展示のし易い作りとする。



2階 創作室2C

室内にステンレス流しを設ける。

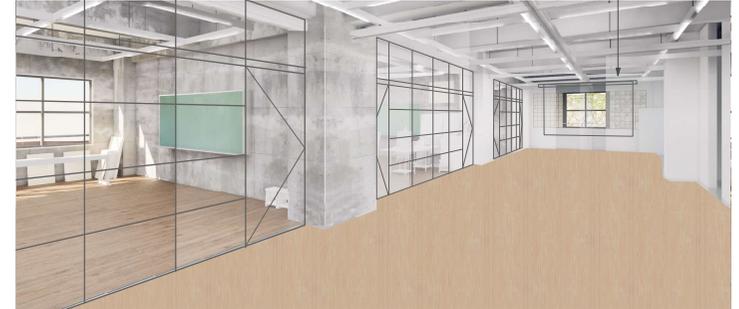




3階 オープンスペース3

3階は、創作室とオープンオープンスペースを固定式の間仕切りパーティションで区切る。

オープンスペースの一角に投影スクリーンを移設し、暗幕用カーテンレールも備えて、プロジェクターを使えるスペースとする。



3階 創作室3B、3C

3階は木工工作機械を設置する部屋を作るなど、市民の活動やワークショップなどが行える場とする。

木工作業などをし易くするため、3階の創作室3B、3Cはフローリング貼りとする。

元図工室で使用していた作業台なども再利用する。

3階 創作室3C

室内にステンレス流しを設ける。

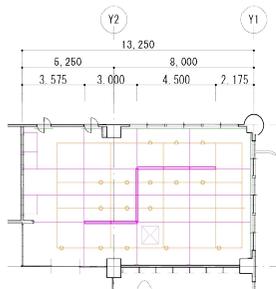
企画室

可動間仕切りの展示パネル、配線ダクト型の移動式スポットライト等を備えつける。暗転利用もできるように、暗幕用のカーテンレールも装備する。

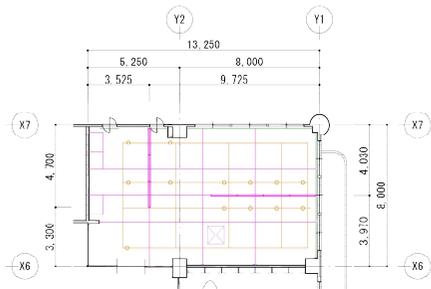
天井凡例	
	可動壁レール
	ダクトレール (ライティングダクト)
	柔吊りパイプ
	暗幕用カーテンレール

パネル W1,500×H3,000 ×10枚で検討

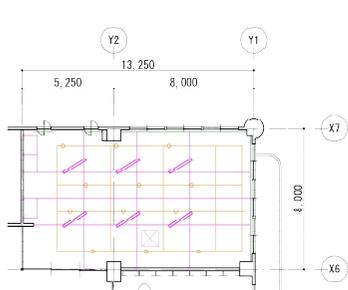
可動間仕切り
パターンA



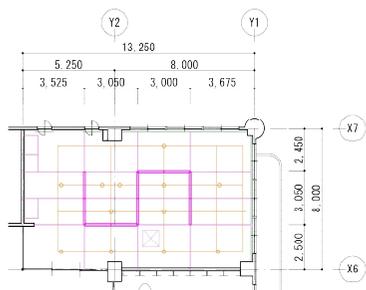
可動間仕切り
パターンB



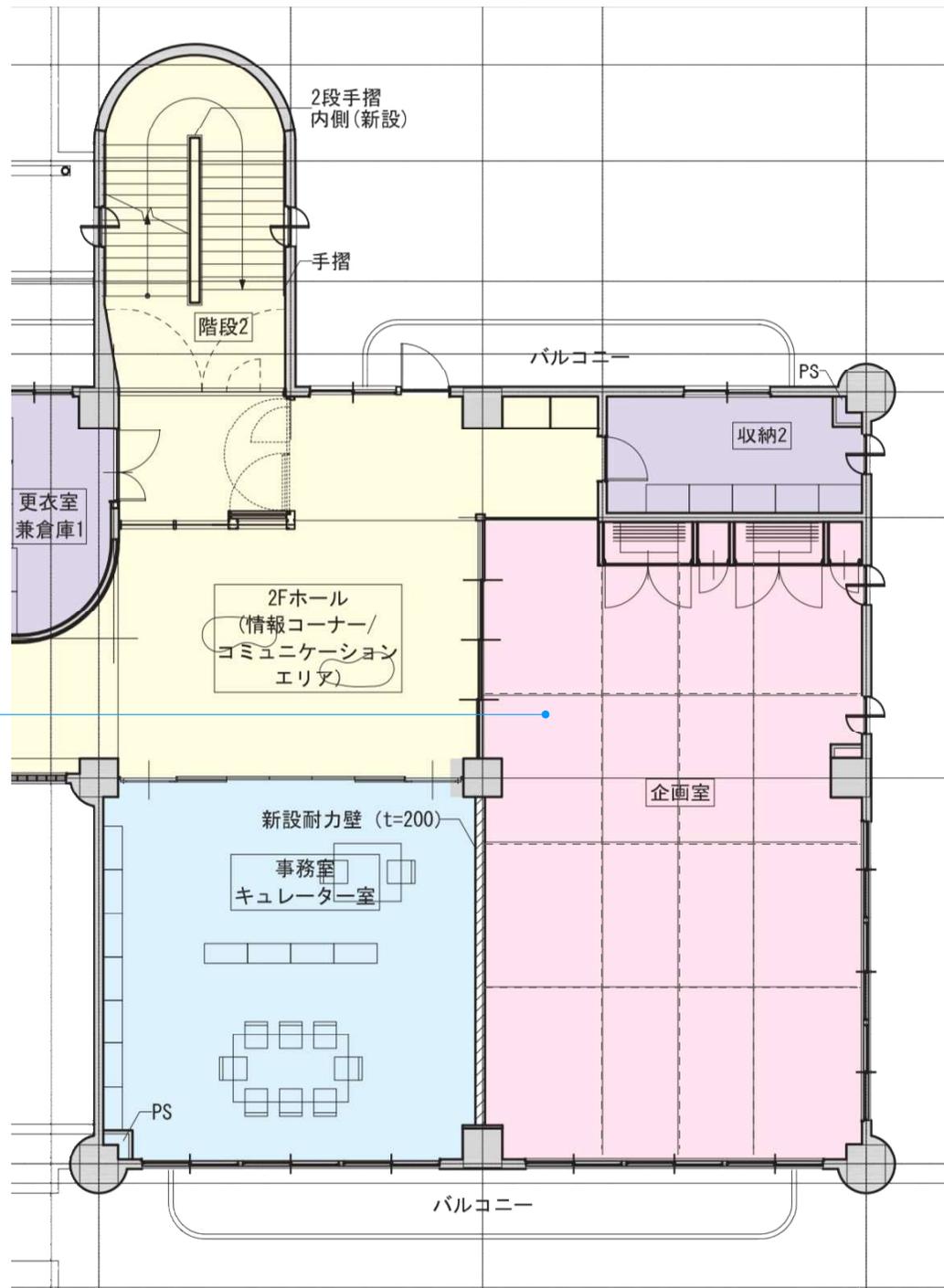
可動間仕切り
パターンC

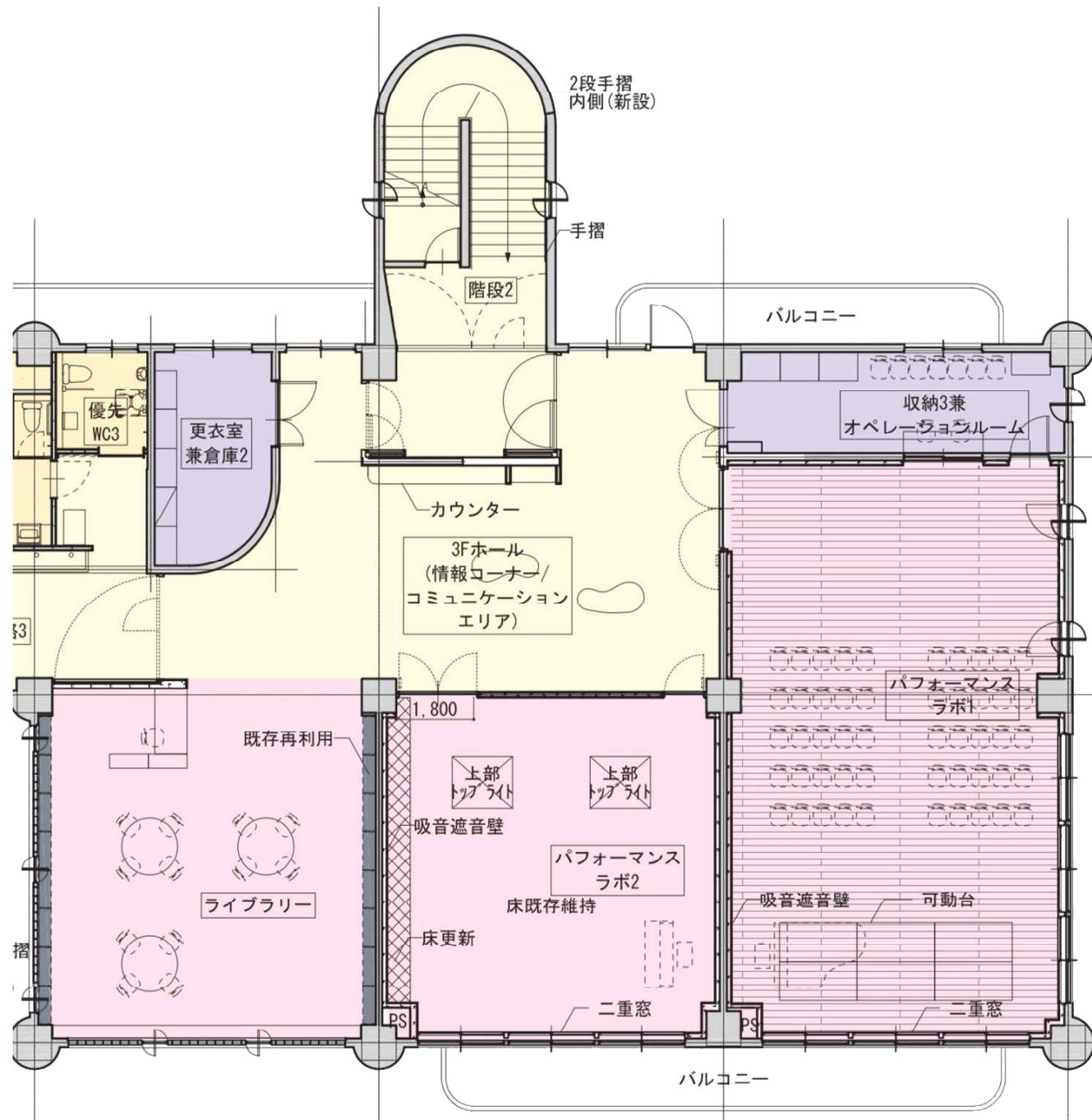


可動間仕切り
パターンD



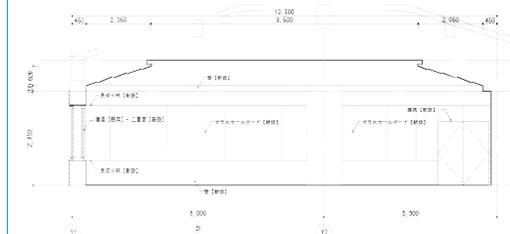
可動間仕切りパターン A3: 1/200





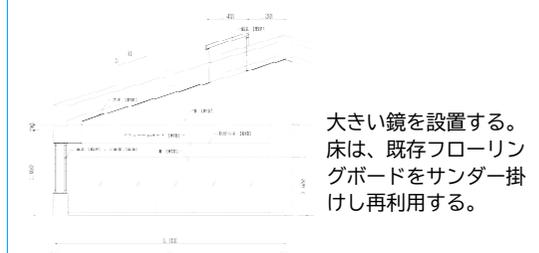
パフォーマンスラボ1

内窓の設置、乾式遮音壁の設置を施して館内外への音漏れを緩和する措置を図る。
既存天井をほぼそのまま活かし、再利用する。



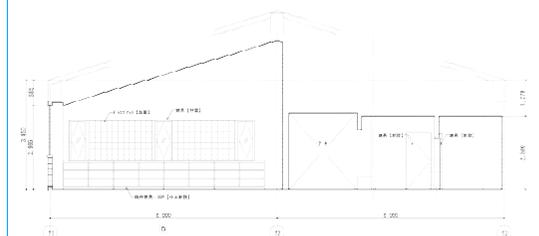
パフォーマンスラボ2

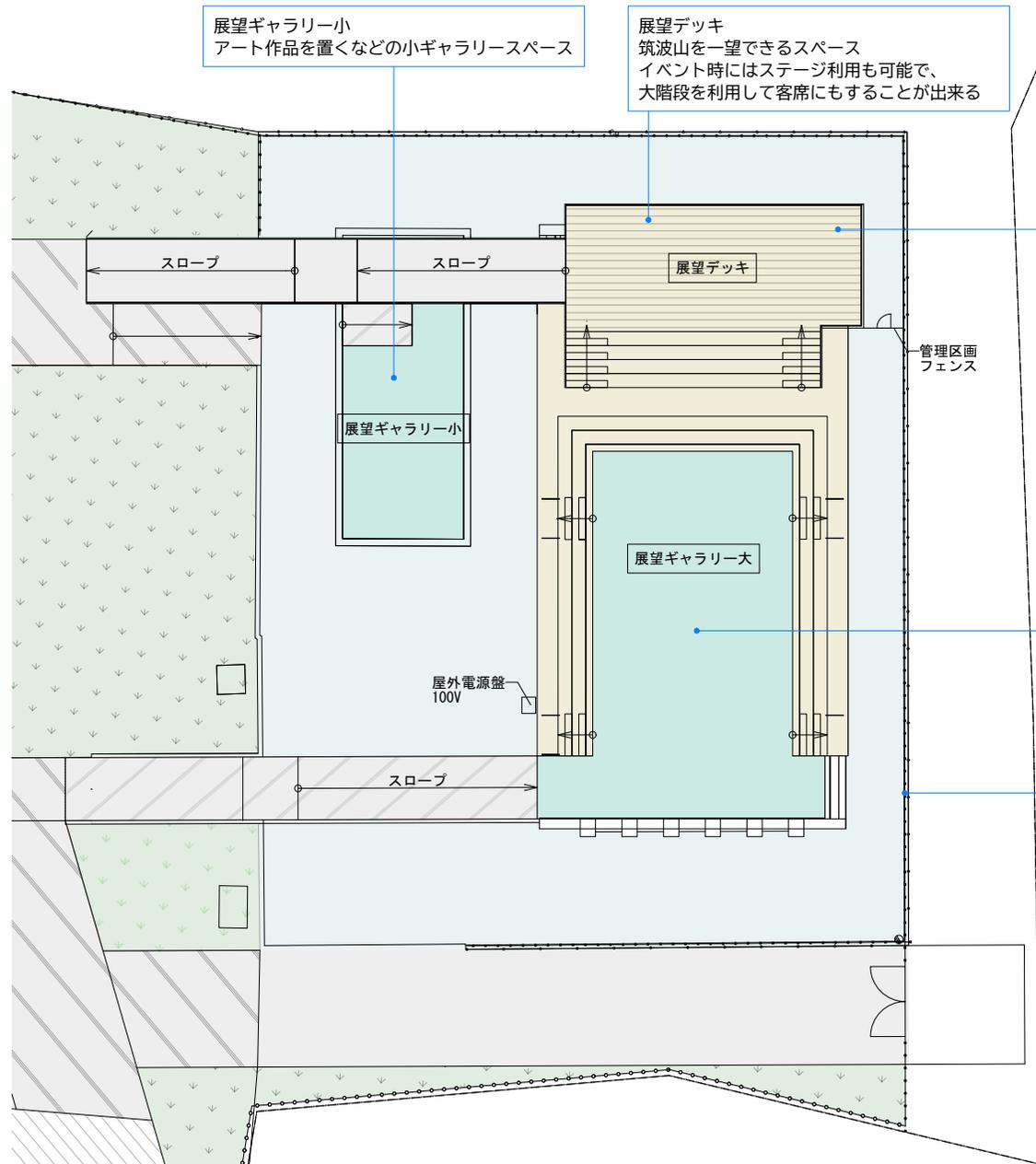
ダンスや演劇などの練習に利用できる部屋を整備。



ライブラリー

既存本棚も再利用しながら、ライブラリーとして整備する。





展望ギャラリー小
アート作品を置くなどの小ギャラリースペース

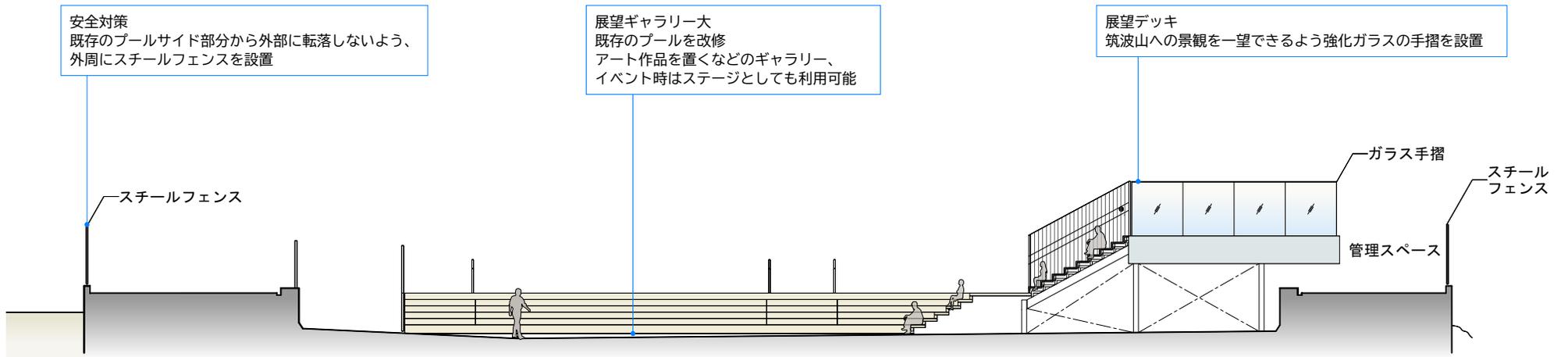
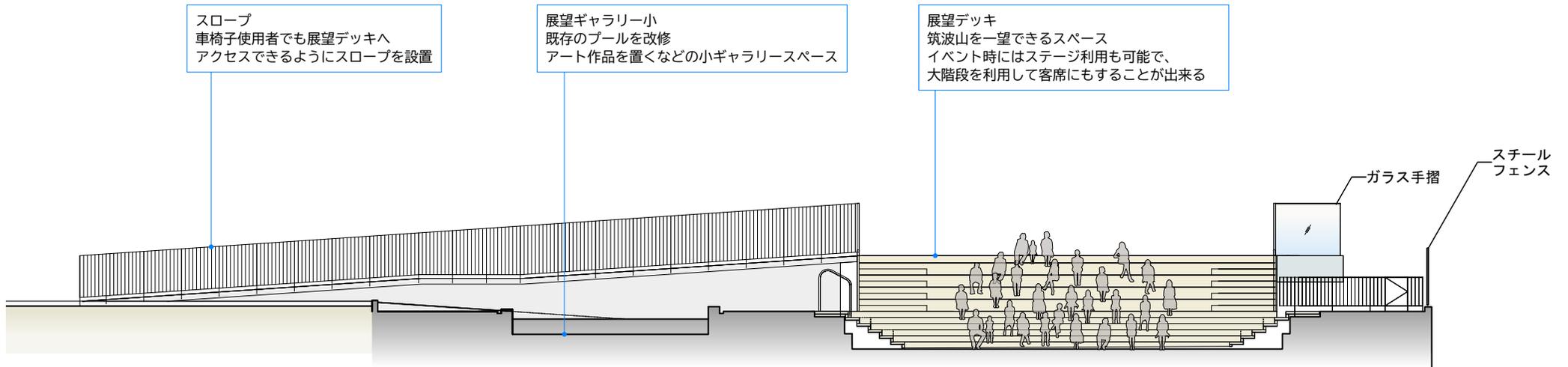
展望デッキ
筑波山を一望できるスペース
イベント時にはステージ利用も可能で、
大階段を利用して客席にもすることが出来る



展望デッキイメージパース
筑波山を一望できる展望スペースでもあり、
イベント時はステージや階段を利用して客席
にもなる

展望ギャラリー大
既存のプールを改修。
アート作品を置くなどのギャラリー、
イベント時はステージとしても利用可能

安全対策
既存のプールサイド部分から外部に転落しないよう、
外周にスチールフェンスを設置



工事ステップ計画概要

	① 第1期 解体工事 (プール廻り・校舎棟内装)	② 第2期 解体工事(体育館) 校舎棟外装改修工事 展望ギャラリー・デッキ新設工事	③ 校舎棟内装改修工事 展望ギャラリー・デッキ新設工事 体育館解体後、駐車場砂利敷き	④ 校舎棟内装改修工事	⑤ 外構工事 (駐車場・屋外ギャラリー)
工事期間	令和7年8月～令和7年10月	令和7年11月～令和8年2月	令和8年3月～令和8年4月	令和8年5月	令和8年6月～令和8年8月
	<p>Legend: --- 工事エリア ■ 解体工事 ■ 改修工事</p>				
解体工事	プール廻り、校舎棟内装の解体を行います。	体育館解体、敷地内のアスファルト、フェンスの解体を行います。	敷地西側の小屋、駐車場アスファルト解体の解体を行います。体育館解体工事が完了します。	駐車場アスファルト工事に着手し、体育館跡に砂利敷きを行います。	
改修工事		校舎棟外装改修工事を行います。内装工事にも着手します。展望ギャラリー廻りの新設工事を行います。	校舎棟内装改修を行います。	校舎棟の内装改修を行います。	校庭エリアに芝生敷き、コンクリート舗装、屋外電気・照明設備工事、駐車場新設工事を行います。

計画工程表(案)

項目	令和7年度								令和8年度									
	2025.7	8	9	10	11	12	2026.1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
外構	準備期間		プール廻り解体		展望ギャラリー・展望デッキ新設工事				小屋、フェンス、アスファルト解体		外構工事(駐車場アスファルト、駐車場)							
体育館						アスファルト舗装解体		体育館解体				体育館跡砂利敷き工事						
校舎棟			外装改修工事															
	準備期間	校舎棟内装解体工事			校舎棟内装改修工事						検査引き渡し	備品搬入運営準備		令和8年度中グランドオープン				

つくばアートラボ 2025 開催報告

令和3年度につくば市文化芸術創造拠点試行事業「つくばアトリサーチラボ」として田水山小学校にて開催したことを皮切りに、以後、毎年テーマを変えながら継続している次世代アーティスト育成事業。令和6年度は、筑波大学附属病院等で活動しているアートコーディネーターを講師として招聘し、絵画技法「フロッタージュ（こすり出し）」を用いて、つくばセンタービルやその周辺の壁や地面等の模様を写し取り、まちの姿を普段と違う視点で眺めてみる、という試みを行った。

1 催事名

「つくばアートラボ 2025 ～歩いて！こすって！まちのもよう図鑑づくり～」

2 概要

市内の次世代アーティストを育成すること、また、つくばの芸術文化の裾野を広げていくことを目的とする事業。

3 主催

つくば市

4 日時

令和7年（2025年）2月11日（火祝）

①10:00～12:00、②14:00～16:00

5 会場（予定）

コリドイオ3階 つくば市民センター小会議室（吾妻一丁目10番地1）

6 企画

- ・ 鉛筆、クレヨン等で対象物の凹凸を紙に写しとる絵画技法「フロッタージュ（こすり出し）」で、つくばセンタービル周辺の建造物の床や壁、地面、木、葉等の模様を採集し「図鑑カード」を制作。見慣れたまちの風景を、普段と異なる視点で眺めることで得られる意外な発見など、単なる絵画技法の体験・習得に留まらない可能性を持つワークショップ。
- ・ コリドイオオープン1周年記念イベント「Corridoio Anni」内企画として募集、開催。

7 対象・定員

小学1～6年生とその保護者（各回8組）

8 講師

松崎仰生氏（アートコーディネーター）

茨城県つくば市出身。筑波大学附属病院や NPO 法人チア・アート等でアートコーディネーターとして活動。

9 参加者数

① 10:00～12:00 7組

② 14:00～16:00 6組

10 参加者アンケート集計結果（一部抜粋）※（）内は回答数

●満足度

満足(12/12)、やや満足(0/12)、普通(0/12)、やや不満(0/12)、不満(0/12)

●市主催の芸術文化イベント等はどのくらいの頻度で開催するのがよいか

半年に1回(1/12)、2～3か月に1回(5/12)、月に1回(6/12)、週に1回(1/12)、その他(0/12)

●参加してみたいイベントのジャンル（上位5項目）

工作(12)、絵画(9)、手芸(6)、演奏(6)、歌(4)

●感想（一部抜粋）

- ・身近なものから「こすって！まちのもよう図鑑づくり」。小学生も発見しやすくおもしろい発想で素敵だと思いました。
- ・外に出て模様を探すのが楽しかったです。大人も楽しかったです。大人1人、こども2人で参加したのですが、ハサミ等がグループに1ずつしかなかったので、できればこどもの人数分用意していただけたら嬉しいです。
- ・普段日常的に使用しているつくばセンタービルが、今回のような工作イベントを通じて違った視点で観ることができ、小学2年生の低学年でも十分に楽しむことができるイベントでした。またこのようなイベントがあればぜひ参加してみたいと思います。
- ・身近な街の中で普段気が付かない模様や看板を楽しく見つけられてよかったです。
- ・外にはいろいろなもようがあっっておもしろかった。一つやるにつれてまた一つ見つけられて面白かった。まんぞくど 100。

つくばアトラボ「歩いて！こすって！まちのもよう図鑑づくり」 ver.3

2025.1.9

松崎仰生（アートコーディネーター）

1. 企画概要（広報リード文）

鉛筆やクレヨンで紙に写しとる絵画技法「フロッタージュ（こすり出し）」で、コリドイオのまわりの建物の床や壁、地面、木、葉っぱなどのデコボコを採集。みんなが集めた「まちのもよう」で図鑑カードを制作します。見慣れたまちの風景も、いつもと違う視点で見ると意外な発見があり、子どもも大人も楽しめるかも。歩いて、こすって、つくって、親子で楽しみながらつくばのまちを感じてみませんか？

2. 開催概要

日時：2月11日（月・祝）①10:00-12:00／②14:00-16:00

場所：コリドイオ小会議室

対象・定員：小学校1～6年生とその親子・各回8組

3. ワークショップの流れ

場所	内容	時間
小会議室	◎ イントロダクション ・参加者名札（ニックネーム）の作成 ・企画説明 ・活動説明	15分
コリドイオ周辺 ・コリドイオ内 ・co-en 内 ・石の広場 ・近隣ベデ ※エリアを指定 ※雨天は屋内エリア	◎ まちのもよう探し 1. カードの欄に色鉛筆でまちのもようをこすり出す ※基本的には1枚をカードに仕上げていくが、時間があれば2枚目以降もこすり出しOK 2. 特に気になるもようは、周りの風景を参加者がスマートフォンで撮影	40分
	◎ 休憩	5分
小会議室	◎ 図鑑カードの制作 1. カードにもようの情報を記載 この間、保護者がQRコードからGoogleフォームにアクセスし写真をアップロード→スタッフが写真を印刷 3. 印刷した写真をカードに貼付 4. カードをスキャンする 5. カードを半分に折り、のりで接着 6. カードをラミネートする 7. 枠に合わせて余分な部分をハサミで裁断し完成	40分
	◎ シェアリング ・参加者間でカードを見て紹介し合う	15分
	◎ クロージング ・参加者アンケート ・カード持ち帰り	5分

つくばショートムービーコンペティション 2025 開催報告

本事業は、全国から短編映像作品を公募して開催するコンペティションである。つくば市出身の映画監督・中村義洋氏を審査員長として招き、地域に根付いた事業への成長を目指している。「つくばショートムービーコンペティション」として、平成25年度（2013年度）の第1回以降、開催回数は10回を超え、「つくばショートムービーコンペティション 2025」は第12回となった。

1 催事名

「つくばショートムービーコンペティション 2025」

2 概要

つくば独自の短編映像コンペティション・上映会の開催を通して、クリエイター志望者の制作意欲を惹起し、市にゆかりのあるクリエイターの育成を行うとともに、市民が優れた芸術文化作品を気軽に鑑賞できる機会を創出する。

3 主催・後援・協賛

主催：つくばショートムービーコンペティション実行委員会、つくば市

後援：（一財）つくば都市交通センター、ラヂオつくば、ACCS

協賛：（公財）つくば文化振興財団、日本国際学園大学、（公財）つくば科学万博記念財団、株式会社ワコム、株式会社ウィットスタジオ、株式会社ジェイ・エス・ビー・ネットワーク

4 作品募集（詳細は別紙「応募要項」参照）

(1) 部門

① 自由部門

ストーリー性のある10分以内の映像作品

② ショートショート部門

ストーリー性のある3分以内の映像作品

③ つくば部門 ※市のプロモーションとして活用できる作品も含む。

つくば市内で撮影したカットまたはつくば市内の風景をモチーフとした描写を含んだ、ストーリー性がある10分以内の映像作品

④ 全天周映像部門

大型ドームスクリーンの全天周映像に対応した10分以内の映像作品

(2) 期間

令和6年(2024年)9月1日(日)～令和7年(2025年)1月12日(日)

5 会場

つくばエキスポセンター プラネタリウムホール（吾妻2-9）

6 各賞・審査方法

(1) 賞

賞	内容
グランプリ 全4部門から1本	・賞金10万円 ・トロフィー ・つくばコレクション5千円相当
準グランプリ【新設】 全4部門から1本	・賞金3万円 ・つくばコレクション3千円相当
つくば市長賞 つくば部門から1本	・賞金3万円 ・つくばコレクション3千円相当
ショートショート部門賞 ショートショート部門から 1本	・賞金3万円 ・つくばコレクション3千円相当
つくばエキスポセンター賞 全天周映像部門から1本	・賞金3万円 ・副賞（エキスポセンター提供）
ウィットスタジオアニメーション賞 アニメーション作品より1本 ※他の賞との同時受賞が可能	・賞金3万円 ・副賞（㈱ウィットスタジオ提供）
市民審査員賞 市民審査員の人気投票で1位の作品	・賞金2万円
ユニライフ・ワコム スチューデント賞 大学・専門学校・高校等の学生 作品より1本※他の賞との同 時受賞が可能	・商品券等1万円相当（㈱ジェイ・エス・ビー・ネットワーク提供） ・ワコムペンタブレット（㈱ワコム提供）
佳作 ノミネート作品で上記の賞に 該当しなかった作品	・映画鑑賞券（5千円相当）

(3) 審査方法

採点においては、作品の持つストーリー性、演出力などを考慮。

【一次審査】各実行委員が応募作品を採点。

【二次審査】

一次審査結果をベースに、実行委員会において最終審査ノミネート作品を検討。

【最終審査】

ノミネート作品の中から各賞を決定する。審査は審査員により行う。

7 受賞作品一覧（各賞五十音順）

賞・作品名	制作者（監督）
グランプリ	
「逆さまの天才」	西 遼太郎
準グランプリ	
「密談長屋」	アブ シャハド イモン
市民審査員賞	
「幸福指数」	西井 舞
「NO NAME, WInDOW」	樋廻 里彩
ユニライフ・ワコムスチューデント賞	
「NO NAME, WInDOW」	樋廻 里彩
ウィットスタジオアニメーション賞	
「NO NAME, WInDOW」	樋廻 里彩
ショートショート部門賞	
「灯台守と迷子の幽霊」	香取 徹
佳作	
「ある、春のはなし」	森本 悠平
「ただいま！」	山内 香音
「Dancing in the rain」	葉 昭均
「ははむすめ」	渡邊 高章
「「負けたらケライ！」だぞ」	きのした かく
「実」	小林 哲也

※「つくば市長賞」は、つくば部門応募作に最終審査ノミネートに足る基準を満たす作品が存在しないと実行委員会において判断され、該当なしとの結論に至った。

※「つくば市長賞」の代替として、若手クリエイターへの奨励賞的位置づけである「つくば市長特別賞」を創設し、筑波大学生による演劇チーム・踊母会による「口火」に授与した。

※「つくばエキスポセンター賞」は、全天周部門への応募作がなかったため、該当作なしとした。

つくばショートムービーコンペティション2025 応募要項

募集部門

- 自由部門**
ストーリー性のある10分以内の作品。
- ショートショート部門**
ストーリー性のある3分以内の映像作品。
- つくば部門**
つくば市内で撮影したカットまたはつくば市内の風景をモチーフとした描写を含んだ、ストーリー性がある10分以内の映像作品。
- 全天周映像部門**
大型ドームスクリーンの全天周映像に対応した10分以内の映像作品。

募集期間

令和6年(2024年)9月1日(日)～令和7年(2025年)1月12日(日)必着

各賞について

- 【グランプリ】全4部門より1本……………賞金10万円と副賞
【準グランプリ】全4部門より1本……………賞金3万円と副賞
【つくば市長賞】つくば部門より1本……………賞金3万円と副賞
【ショートショート部門賞】ショートショート部門より1本……………賞金3万円と副賞
【つくばエキスポセンター賞】全天周映像部門より1本……………賞金3万円と副賞
【ウィットスタジオアニメーション賞】アニメーション作品より1本……………賞金3万円と副賞
【市民審査員賞】市民審査員の人気投票で1位の作品……………賞金2万円
【ユニライフ・ワコムスチューデント賞】大学・専門学校・高校等の学生作品より1本……………(株)ワコムより副賞
【佳作】ノミネート作品で上記の賞に該当しなかった作品……………映画鑑賞券(5千円相当)
※各賞については、応募状況により変更になる場合があります。

審査方法

作品の選考は、作品の持つストーリー性、演出力などを考慮し採点します。

(1) 一次審査・二次審査

応募締め切り後、最終審査へのノミネート作品の選考を行います。選考後、ノミネート作品の制作者へのみ審査結果と授賞式の案内を通知するほか(2025年1月下旬から2月上旬を予定)、ホームページ上に選考結果を掲載いたします。ノミネート作品以外の制作者には結果を通知いたしません。審査は実行委員により行います。

(2) 最終審査

ノミネート作品の中から、グランプリをはじめ、各賞を決定します。審査は審査員により行います。ただし、市民審査員賞は市民審査員の投票で選出します。

審査員

中村 義洋 (映画監督)
五十嵐 立青 (つくば市長)
中原 徹 (公益財団法人つくば科学万博記念財団理事長)
山田 健太 (株式会社ウィットスタジオ)
つくば観光大使

授賞式

ノミネート作品の上映と、各入賞作品の表彰を行います。
開催日程：2025年3月1日(土)
開催場所：つくばエキスポセンタープラネタリウムホール (つくば市吾妻2-9)

応募資格

- 作品がノミネートされた場合に、授賞式に作品制作者本人または代理人の方が出席できること。(交通費、滞在費自己負担)
- プロ、アマチュア、年齢、国籍等は問いません。

応募作品について

- 完成作品はストーリー性のある短編映像作品とします。(各部門の規定時間を越えた作品は審査対象外とします)
- 映像のジャンル(実写、CG、アニメ等)は自由です。
- 全天周映像部門は、4096px × 4096px のドームマスター形式とします。
- 作品は2024年1月以降に完成したもので、応募者本人が制作したオリジナルの映像作品とします。
- 個人、チーム問わず誰でも参加可能です。ただし個人またはチームにつき1つの映像作品のみ応募可能とします。また、1人につき関与できるのは、1作品のみです。
- インターネットに公開済みの作品も応募可能です。
- 作品時間の規定に合わせて同じ素材を再編集した作品等については、同作品とみなします。
- 作品に登場する人物・建物などの肖像権や、使用している著作物(音楽、写真、絵画、小説、シナリオ、テレビ、ラジオ等)の使用許諾を必ず応募締め切りまでに権利者から得る必要があります。
- 映像本編の最初と最後が分かるよう、スタート時にカウントダウン、終了後に白背景などを追加してください。
- 誹謗中傷、不快感を与えるもの、その他、公序良俗に反すると事務局が判断した作品は選考対象外となります。

応募方法

2種類の応募方法があります。なお、いずれの応募方法の場合も、授賞式での上映に備え、作品の元データは必ず保存しておいてください。

(1) インターネットでの応募

インターネット動画共有サイト「YouTube」に応募作品を投稿してください(プライバシー設定は必ず「限定公開」を選択してください)。

※必ず、YouTube 利用規約を確認し、全ての項目に御同意いただいたうえで投稿してください。

その後、WEB の応募フォームに必要な事項を記入し、送信してください。

(2) 映像メディアでの応募

作品を映像メディア(DVD-R またはCD-R)に記録し、作品名と応募者名がわかるようにして「つくばショートムービーコンペティション事務局」宛に郵送してください。

その後、WEB の応募フォームに必要な事項を記入し、送信してください。

DVD-Video 形式：アスペクト比4：3、16：9、ドームマスター形式

動画ファイル：mp4、avi、mov のいずれかのフォーマット

※映像メディアの送付先は下記問合せ先を御確認ください。

個人情報の取り扱い

応募フォームに記載された個人情報は下記のとおりに取り扱います。

- つくばショートムービーコンペティション2025の実施に関するのみ使用し、この目的以外に本人の同意または法令に基づく司法、行政及びこれに類する機関からの要請なく個人情報を開示公表することはありません。
- ホームページや印刷物等で個人名(ペンネーム可)、都道府県名(国外にお住いの方は国名)、年齢、職業を公表しますので予め御了承ください。

注意事項

- 本コンペティションへの応募は無料です。ただし、作品の制作費及び送料等にかかる一切の費用については応募者の自己負担となります。
- 郵送された映像メディアは受賞の有無にかかわらず返却いたしません。
- 映像メディアの再生不良により作品の視聴が困難な場合、選考の対象外となる場合があります。
- 作品応募の際、運搬トラブルによる紛失、破損等の損害が発生した場合、主催者側は一切の責任を持ちません。
- 権利侵害や損害賠償、その他作品を制作・上映した場合に発生したトラブルについて、主催者側は一切責任を持ちません。
- 応募作品の著作権は制作者に帰属します。ただし、主催者は応募作品をつくば市及び本コンペティションのPR の目的で、無償で複製、編集、第三者への貸与、上映、翻訳・翻案(含日本語、英語等の字幕挿入)、頒布及び公衆送信(YouTube へのアップロード等)を行えるものとします。
- 授賞式での作品上映に当たり、制作者は主催者側で映像フォーマットの変更作業を行うことに同意のうえ、応募したものとみなします。
- 審査経過や審査内容については如何なる理由があっても公開しません。
- 応募者への連絡は原則E-mail をとおして行いますので、応募用紙の連絡先には必ず連絡が取れるアドレスを記入してください。
- 応募者に違法行為、違反行為が発生した場合や、応募作品が選考に適さないと判断した場合、選考除外またはノミネートの取り消し(撤回)を行う場合があります。
- 応募フォームにより申請をしたことで、募集要項に記載されたことを全て受諾したとします。

お問い合わせ

「つくばショートムービーコンペティション事務局」(つくば市文化芸術課内)
住所：〒305-8555 茨城県つくば市研究学園一丁目1番地1
電話：029-883-1111 (内線5610、5611)
メール：artarchive.tsukuba@gmail.com

クレジット

主催：つくばショートムービーコンペティション実行委員会、つくば市
協賛：公益財団法人つくば文化振興財団、日本国際学園大学、公益財団法人つくば科学万博記念財団、株式会社ワコム、株式会社ウィットスタジオ、株式会社ジェイ・エス・ビー・ネットワーク
後援：一般財団法人つくば都市交通センター、ラヂオつくば、ACCS
URL：https://www.tsukuba-artchannel.jp/page/page000160.html
(つくばアートチャンネル内)



公式ホームページ・応募フォームはこちらから

つくばメディアアートフェスティバル 2025 開催概要(報告)

市では、筑波大学との連携のもと、科学技術と芸術の融合による表現分野「メディアアート」を紹介する企画展として、2014年度より「つくばメディアアートフェスティバル」を開催している。2025年は7回目の開催年に当たり、8月上旬の開催に向けて、市及び筑波大学において招待作家等の企画内容検討を進めている。

1 催事名

「つくばメディアアートフェスティバル 2025」

2 概要

科学技術と芸術の融合による表現分野「メディアアート」を、筑波大学等の地域資源を生かし紹介する企画展。

3 主催・共催・後援（予定）

主催：つくば市

共催：筑波大学工学・芸術連携リサーチユニット、(公財)つくば文化振興財団、つくば市教育委員会

後援：茨城県、首都圏新都市鉄道(株)、(株)茨城新聞社

4 会期（予定）

令和7年（2025年）8月1日（金）から8月11日（月祝）まで

※7月31日（木）プレオープン

5 会場（予定）

茨城県つくば美術館（吾妻2-8）

6 企画（予定）

(1) メディアアート作品展

・招待作家による出展

クワクボリョウタ氏、他1組程度（調整中）

・筑波大学内のコンパ等で選出された学生等の作品 15 作品程度出展

(2) サイエンスハッカソン 2025（1組）

アーティストとサイエンティストの協働によるメディアアート作品制作。

市がアーティストにヒアリングを行い、関心のある研究、研究施設等を調査・調整。その後、アーティストは協働先の研究者に市が同席のもとでリサーチを実施し、制作とフィードバックを繰り返しながら創られた作品を、メディアアートフェスティバルに作品展示をする。

今回は「片岡純也+岩竹理恵」のユニットが、KEK の協力により制作を行う。なお、作品は最終的に「2025 年日本国際博覧会（略称「大阪・関西万博」）」にも出展される予定。

(3) ワークショップ（1組）

招待作家によるメディアアート体験型のワークショップ

今回は筑波大学初スタートアップ“Griteen”による「まちづくりワークショップ」を行う方向で調整を進めている。

7 監修

筑波大学工学・芸術連携リサーチユニット

筑波大学 芸術系 内山 俊朗 准教授

筑波大学 芸術系 村上 史明 助教

8 広報

(1) 発行物

- ・チラシ
- ・ポスター
- ・パンフレット ※当日配布用
- ・図録 ※事後広報用

(2) 広報活動

- ・チラシ・ポスター掲出（近隣市町村、市内各施設、TX 各駅等）
- ・広報つくば
- ・ホームページ（市公式、アートチャンネル）
- ・市各種 SNS（市公式、アートクロス）
- ・プレスリリース
- ・つくばちびっこ博士 2025
- ・アート系サイトへの記事掲載

アートコーディネーター（令和7年度4月採用）内定報告

1 令和6年度にアートコーディネーターの募集を実施した理由

「つくば市芸術文化創造拠点」の供用開始に向け、市・市民・アーティスト・キュレーター・各専門機関等とのネットワーク構築及びその過程におけるワークショップ等の各ソフト事業や、備品やサイン等のハード面の検討をあらかじめ行っておくことが望ましい。このことから、「美術分野」に関する専門的な知識を有する人材が必要であると判断し、募集を実施した。

※「つくば市芸術文化創造拠点」においては、特に「美術分野」の活動を推進していく。

2 募集から内定までのプロセス

当初、令和6年（2024年）10月1日採用を予定し、令和6年（2024年）5～6月に募集を行ったが、受験資格を満たす応募者がなかったため選考を見送った。そのため、令和7年（2025年）4月1日採用の予定に改め、受験資格等を一部変更の上で、令和6年11～12月に再度募集を行い、最終的に1名が内定した。

(1) 告知方法

- ・ 広報つくば
- ・ 市ホームページ
- ・ 市公式 SNS（フェイスブック、インスタグラム等）
- ・ つくばアートチャンネル（つくば市芸術文化情報ポータルサイト）
- ・ つくばアートクロス（文化芸術課公式インスタグラム）
- ・ 各種求人サイト掲載（JOB by 美術手帖等） など

(2) 選考過程

応募総数：8件

一次選考：書類選考〈通過者3名〉

最終選考：個別面接〈内定者1名〉

3 職務内容

- ①「（仮称）つくば市芸術文化創造拠点」の開設準備（地域連携・ネットワークづくり等）
- ②「（仮称）つくば市芸術文化創造拠点」の開設前後における事業の企画運営（アーティストとのやりとりをはじめ、企画立案から事業進行に関わる諸作業等）
- ③文化芸術課が実施する事業（つくば市文化芸術推進基本計画（第2期）内の施策の遂行等）

令和6年度つくば市任期付職員 (アートコーディネーター) 採用試験 《令和7年度採用》受験案内

つくば市総務部人事課

つくば市では、市民、関係機関と連携し、「つくば市文化芸術推進基本計画(第2期)」及び「つくば市文化芸術創造拠点基本計画」に基づき、アーティストや市民の文化芸術活動を支えるプラットフォームの整備を進めています。これらの業務を効果的かつ効率的に遂行し、更に加速させるため、文化芸術の専門的な知識経験を有する人材を、任期付職員(アートコーディネーター)として募集します。

1 試験区分、採用予定人数及び職務概要

試験区分 (募集職種)	採用予定 人数	職務概要
一般任期付職員 アートコーディネーター (美術分野)	1名	① 「(仮称)つくば市文化芸術創造拠点」の開設準備(地域連携・ネットワークづくり等) ② 「(仮称)つくば市文化芸術創造拠点」の開設前後における事業の企画運営(アーティストとのやりとりをはじめ、企画立案から事業進行に関わる諸作業等) ③ 文化芸術課が実施する事業(つくば市文化芸術推進基本計画(第2期)内の施策の遂行等) ※①~③の業務の中で、英語でのコミュニケーション(会話、メールのやりとりなど)が必要なこともあります

※「一般任期付職員」とは、専門的な知識経験が特に必要とされる業務に一定の期間従事させるために、当該知識経験を有する人を対象に選考し、任期を定めて採用する職員です。

重要

令和6年5月から申込受付を開始した『令和6年度つくば市任期付職員(アートコーディネーター)採用試験』を受験した者は申込みできません。

2 受験資格

次の①~③の要件をすべて満たす者

- ① 大学卒業程度の学力及び文化芸術に関する専門知識を有すること
- ② 美術分野で事業企画・運営等の職務経験が2年以上あること
- ③ 普通自動車第一種運転免許を取得していること

※上記受験資格を満たしても、地方公務員法第16条により、次に該当する者は受験できません。

- ・禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又は執行を受けることがなくなるまでの者
- ・つくば市職員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者
- ・日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

3 試験について

第一次選考	内容	書類選考 申込み時に提出された内容に基づき審査します。 (提出方法は、「5 受験申込」を参照)
	合否結果	令和7年1月上旬頃に申込者全員に通知します。 ※合格者には最終選考の詳細日程等も併せて通知します。
最終選考	試験日時	令和7年1月中旬~下旬 ※日程は、第一次選考合格通知にて通知します。

	内容	個別面接
	合否結果	令和7年2月上旬頃に最終選考受験者全員に通知します。

4 採用、給与及び勤務条件について

任期付職員の勤務条件は、任期が定められていること以外、任期の定めのない一般職の職員と同様です。

採用	採用予定日	令和7年4月1日
	任期	2年（令和7年4月1日～令和9年3月31日）
	職務	行政職（事務職）4級相当の職務
給与	給料月額	271,600円以上 ※合格者の経歴等を考慮し決定します。
	各種手当	期末手当・勤勉手当（年2回（6月、12月））、扶養手当、住居手当、通勤手当、地域手当等
	年収見込	530万円～730万円程度 ※この年収見込額は、上記給料及び各種手当により算出した額です。
勤務条件	勤務時間	午前8時30分から午後5時15分まで
	休日等	土曜日、日曜日、祝日及び年末年始（12月29日～1月3日）
	休暇等	年次有給休暇が一の年度に20日付与されます。（初年度は10日付与されます。） このほか、特別休暇、介護休暇等が取得できます。
	その他	令和8年度に予定している「（仮称）つくば市文化芸術創造拠点(水守620)」の開設に伴い、勤務場所、勤務時間、休日が変更となる予定です。

5 受験申込

申込方法	別紙「受験申込の手引き」にて申込手続きの方法、注意事項等を十分に確認の上、受験申込フォームから申込みを行ってください。
受付期間	令和6年11月5日（火）正午から12月13日（金）正午まで （受験申込受付期間外の申込みはいかなる場合であっても、お受けできません。）
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・受付期間中は24時間いつでも申込みことができますが、システム機器の保守管理等により一時的に利用できない場合がありますので余裕を持って申し込んでください。 ・使用される通信機器や通信回線上の障害等が発生した場合のトラブルについては、一切責任を負いません。

※ 受験申込内容の虚偽や受験資格を満たしていないことが判明した場合は、合格を取り消すことがあります。

※ 職務経歴書に記載された職務経験を確認するため、最終合格発表後、職歴証明書等を提出していただく場合がありますので、あらかじめ御了承ください。

6 個人情報の取扱いについて

つくば市個人情報保護条例に基づき、申込情報は採用試験に係る事務以外の目的では一切使用しません。

また、不合格者分の受験申込書等の提出書類については、当該年度末で処分するものとし、返却はしません。

7 問合せ先

つくば市総務部人事課人材育成係
〒305-8555 茨城県つくば市研究学園一丁目1番地1
TEL 029-883-1111